

平成24年度の鳥取県への移住定住状況について

平成25年6月7日

とっとり暮らし支援課

○平成24年度の本県への移住定住者数は、706人（前年：504人）、434世帯（前年：299世帯）であった。

※平成23年度から26年度までの4年間における2千人の受入目標に対して、前半の2年間で1210人に達した。

<主な特徴>

- ・20～30代の移住者が多い。
- ・近畿（大阪府、兵庫県）・中国地方（島根県、広島県）からの移住者が多い。
- ・就職、田舎暮らし、農林水産業を目的とした移住者が多い。

○前年度と比較し、就職、田舎暮らしを目的とした移住者が大きく伸びている。

→要因として考えられるもの：東日本大震災を契機とした安全志向の高まり
特定企業の工場新設に伴う移住 など

1 年代別の状況

○20～30代の移住者が多い。

- ・20代以下：143世帯（33.0%）
- ・30代：118世帯（27.2%）
- ・40代：60世帯（13.8%）
- ・50代：36世帯（8.3%）
- ・60代以上：77世帯（17.7%）

2 移住前地域別・Uターン別の状況

○Uターンともに、近畿・中国地方からの移住者が多い。

（単位：人）

移住前	人数	Uターン内訳	
		Uターン	Iターン
北海道・東北地方	33	13	20
関東地方	132	74	58
中部地方	56	31	25
近畿地方	199	104	95
中国地方	177	100	77
四国地方	63	8	55
九州・沖縄地方	20	7	13
国外	26	16	10
合計	706	353	353

移住前都道府県 上位5県

Uターン

- 1位 大阪府 56人
- 2位 東京都 43人
- 3位 島根県 38人
- 4位 兵庫県 33人
- 5位 広島県 32人

Iターン

- 1位 高知県 51人
- 2位 兵庫県 43人
- 3位 大阪府 37人
- 4位 東京都 34人
- 5位 島根県 26人
広島県 26人

3 移住目的別の状況

○移住目的別にみると、就職（132世帯）を目的とする移住が多く、次いで、田舎暮らし（83世帯）、農林水産業（35世帯）を目的とした移住が多い。

<移住目的別・年代別の状況>

- ・若年齢者層では、就職を目的とする移住が多い。
- ・高齢者層では、田舎暮らしを目的とする移住が多い。

<参考>

○移住目的別・年代別 移住世帯数

移住目的	～20代		30代		40代		50代		60代～		合計	
	世帯数 (世帯)	構成比	世帯数 (世帯)	構成比	世帯数 (世帯)	構成比	世帯数 (世帯)	構成比	世帯数 (世帯)	構成比	世帯数 (世帯)	構成比
農林水産業	8	7.1%	14	13.5%	9	19.6%	2	7.1%	2	3.2%	35	9.9%
田舎暮らしを志向	8	7.1%	17	16.3%	10	21.7%	8	28.6%	40	63.5%	83	23.4%
企業等への就職	57	50.4%	41	39.4%	19	41.3%	13	46.4%	2	3.2%	132	37.3%
起業	5	4.4%	8	7.7%	1	2.2%	1	3.6%	0	0.0%	15	4.2%
結婚・子育て	11	9.7%	11	10.6%	4	8.7%	0	0.0%	1	1.6%	27	7.6%
介護	0	0.0%	2	1.9%	0	0.0%	3	10.7%	5	7.9%	10	2.8%
東日本大震災からの避難	7	6.2%	7	6.7%	2	4.3%	0	0.0%	3	4.8%	19	5.4%
退職・卒業等による帰郷	13	11.5%	2	1.9%	1	2.2%	1	3.6%	9	14.3%	26	7.3%
土地・家屋の取得	3	2.7%	2	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	1.4%
その他	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%	2	0.6%
計	113	100.0%	104	100.0%	46	100.0%	28	100.0%	63	100.0%	354	100.0%

※移住目的が不明な者（80世帯）を除く。

○市町村別 移住定住者数

(単位：人)

市町村名	移住者数	市町村名	移住者数	市町村名	移住者数	市町村名	移住者数
鳥取市	209	若桜町	8	琴浦町	16	伯耆町	67
米子市	61	智頭町	63	北栄町	66	日南町	41
倉吉市	28	八頭町	5	日吉津村	5	日野町	17
境港市	22	三朝町	5	大山町	67	江府町	15
岩美町	4	湯梨浜町	3	南部町	4	合計	706